

基本計画素案(4・5・6章)に対する委員意見への対応及びその他の修正

資料30

章	項 (施策分野)	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
4. 生活環境の向上 (環境、安全・安心)	4. 防災・減災対策の推進 (防災・減災)	現況と課題の2点目において「災害時に特別な配慮が必要な人へ水や食料、物資などを提供できる備蓄の体制」と修正がされたが、避難前、また避難後も含めてサポートするという意味合いの、修正前の「災害時に特別な配慮が必要な人の避難を支援する体制」のほうがいいのではないか。	ご意見を受けまして、「災害時に特別な配慮が必要な人に対して関係する各機関及び各種団体と連携して支援を行える体制、また、水や食料、物資などを提供できる体制を整え」に修正します。	安全安心課

章	項（施策分野）	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
5. 都市基盤の整備 (都市基盤)	1. 土地利用と景観の形成 (土地利用・景観)	コンパクトシティ計画を進める上での意識付けとして、「居住誘導区域外への一定規模以上の開発行為に対する市長への届出件数」を目標指標とするのはどうか。	立地適正化計画に基づく届出制度は、令和元年8月1日より開始されたものであり、現状、届出される件数等については想定が困難であり、また、届出される件数は限りなく少数であることが望ましいため、目標値の設定が難しく、目標指標に設定することは難しいと考えます。	都市計画課
		山間地の太陽光発電設備の設置に関して、のり面崩壊につながる恐れもあることから、自然環境との調和という言葉があるので、何か防波堤になるようなことを少なくとも課題の中に入れておく必要があるのではないか。	ご意見を踏まえまして、現況と課題の4点目を、太陽光や風力など再生可能エネルギー発電施設設置の影響も考慮し、土砂崩落の防止対策など、「災害に対する安全性の確保」の必要性を加えた表現に修正します。	
	2. 歴史まちづくりの推進 (歴史まちづくり)	「未修理の特定物件の件数」を目標指標とするのはどうか。	ご意見を踏まえまして、今後も継続して「伝統的建造物」の保存修理を進めることで、建物の保存が図られ、町並み保存が進み、施策である「歴史的風致を活かしたまちづくり」を推進することになりますので、目標指標を「町並み委員会の参加者数」から「伝統的建造物の修理棟数」に変更します。	文化財保護課
	3. 道路交通網の整備 (道路・橋りょう)	計画道路については必要性を評価して、見直していくということを記載いただきたい。	都市計画道路については、現に、「桐生市コンパクトシティ計画(立地適正化計画)」を踏まえ、その未整備区間の役割や機能等について再検証を行い、見直し方針を決定・公表していますが、将来都市構造や都市整備方針など都市計画に関する具体的な事項については、「桐生市都市計画マスタープラン」にて定めるべき事項でありますので、本文への記載については見送らせていただきたいと思います。	都市計画課
4. 公共交通体系の充実 (公共交通)		現在、いろいろな交通システムの研究が進んでおり、桐生市も取り組んでいるが、そういった取組を計画に入れたほうがいいのではないかと。	ご意見を踏まえまして、現況と課題の2点目について、新たな交通システム等に関する記述を加えることを検討しましたが、現時点において未だ調査・研究段階のものであるため、具体的な取組の表現は控え、現在の取組全般を包括して「課題解決のための調査・研究」と位置付け、これを「引き続き進めていく」という表現に修正します。	広域連携推進室
		目標指標「市内17駅1日平均乗降者数」について、直近となる2018年の数値が確定しましたので、基準値を修正します。		

章	項（施策分野）	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
5. 都市基盤の整備 (都市基盤)	6. 公園・緑地の整備 (公園・緑地)	目標指標「市民一人当たりの都市公園敷地面積」の目標値が増えていく要因は人口減少によるものということであれば、これを載せるのはさみしいので新たな指標を検討できないか。	ご指摘のとおり、現在の指標「市民一人当たりの都市公園敷地面積」の進捗は、人口減少によるところが大きいですが、現在整備を行っている公園（梅田台緑地）や民間開発に伴い設置された公園（広沢町四丁目公園）、また、今後、民間開発により公園が整備される要素も含まれていることから、修正はしないこととします。	公園緑地課
		公園の活用部分が見えるような目標指標を設定することはできないか。	小規模な公園から大規模な公園まで多々ある中で、公園の活用を目標指標にした場合は、公園全体に関する指標ではなく、現実として一部の大規模な公園のみに関する指標となってしまうことから、設定は見送りたいと考えます。	
	7. 水道水の安定供給 (上水道)	現況と課題の中に、サイズダウンなどについて考えているということを書いてもいいのではないか。	ご意見を踏まえまして、現況と課題の2点目に具体的な表現として「ダウンサイジングなどの」を追記します。	工務課
		目標指標「経常収支比率」は逆の意味に捉えていたので、注釈なり定義をはっきり示す必要がある。また、内部留保資金を崩していくということであれば、目安としてその数字も出した方が分かりやすいのではないか。	ご意見を踏まえまして、注釈として「水道事業における経常収支比率は経常収益÷経常費用×100で求められ、100%超が好ましい。なお、経常収支比率が100%を下回る場合は、内部留保資金でその差を補填するとともに、収支ギャップ解消のための施策を実施し、経常収支比率の改善に努める。」を追記します。	水道総務課

章	項（施策分野）	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
6. 計画推進のために (協働、行政運営)	1. 市民協働の推進 (市民協働)	目標指標「「ゆい」の支援活動等事業数」の目標値設定(毎年10増)は厳しいのではないかと。	市民活動推進センター「ゆい」の開館の日数や時間に制限がある中で、当初の目標値では極端に人的な負担を生じることが懸念されることから、実施可能な活動等の事業数を再度検討し、年間の増加数を10事業から6事業に修正します。	市民生活課
	2. シティブランディングの推進 (シティブランディング)	市民アンケートを取るならば、目標指標として「ファッションタウンの認知件数」を設定するのはいかがか。	ファッションタウンをはじめとするシティブランディングの推進に資する市民参加型の各種取り組みの認知件数は目標指標としてふさわしいと考えますが、ファッションタウンについては主催団体が別に存在するとともに、認知件数を把握するための市民アンケート等は実施されておらず把握不可能なため、目標指標として設定することは難しいと考えます。	広報課
		目標指標「桐生の魅力を語る市民の割合」の中身として、何を持って語る人とするのか。	目標指標の設定に当たっては、市民の声アンケートの設問を活用することを検討している中、指標「桐生の魅力を語る市民の割合」についてはアンケートの設計段階において計画に位置付けた指標でありましたが、最終的にアンケートの設問とした「住む場としての推奨度」及び「訪れる場としての推奨度」に目標指標を改めます。	
		キノピーの活用という観点から、目標指標として「キノピー」の活動に関するものを設定するのはいかがか。	キノピーは、市のマスコットキャラクターとして、アイキャッチや親近感の醸成などを主な役割としています。その意味では、キノピーの活動は、成果(アウトカム)ではなく、活動量(アウトプット)として捉えるべきと考えますので、目標指標として設定することは控えさせていただきます。	
	3. 広報・広聴の充実 (広報・広聴)	目標指標として「ふれあいメール登録者数」を設定するのはいかがか。	ご意見を受けまして、新たに「桐生ふれあいメールの登録者数」を目標指標として設定します。	広報課
5. 地域連携の推進 (地域連携)	基本方針に「車社会の進展に伴う市民の日常生活圏の拡大」と記載があるが、脱車社会の進展を狙えば、さらに地域連携が必要なんだと思うので、逆さまかと思うのがいかがか。	委員の意見を踏まえ、「車社会の進展」ということではなく、一般的な表現として「交通・通信網をはじめとする社会資本整備の充実や進展」という表現に修正します。	広域連携推進室	
	目標指標「市民サービスの向上等に資する広域連携事業数」について、基準値となる事業数を精査するとともに、改めて、目標値について設定し直します。			